京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年 定價 一部金[illegible]錢 ▲一ヶ月前金三十錢 ▲三ヶ月前金九十錢 ▲六ヶ月前金[illegible] 廣告料[illegible] 月曜日及大祭日の翌日は休刊（日刊） 發行兼編輯人 高木久馬太 印刷人 松久靜一郎 發行所 京城西小門通 京城新報社 電話[illegible] 仁川支局 仁川宮町三丁目 東京支局 東京市京橋區南佐柄木町[illegible]

●隨想（四） 小松夢涯

（七）

漸くして世の中は段々世狭くなり、人間は段々と忙しくなつて來た、靜々たる雰囲や電氣の光で、元々安息の爲めに出來てゐる夜までが、オチオチとは眠られなゐ、轟々たる器械の響きや、漂々なる工業的の煙、人間は自分の爲めに苦しんで作つたもの〻爲めに苦しめられつゝある、我々の周圍は凡てあらゆる刺戟物で滿されてゐる、物が已に斯くの通りであると等しく内に於ても亦同樣である、吾々人間の經驗りも丁度それである、右を向いても左を見てもいやに抵抗物が多くつて此體にぶつつかりアッちにぶつつかり丸いものが仕舞には乾度デコボコになるだろう、終には徒らに神經過敏にばかりなつて、デッド一つのものを自己專心にチウオーとする事が出來なくなつてしまう、爭論は殘酷になり、仕事はゴマかしが、多くなり、交際は皮相になつてしまう、これが即今日の世の中である、殊に日本の現狀は猶更である、而して凡てのものが混沌としてをる、ケーオスである、我々は唯もう此の中でがやがやと揉まれにもまれぬいて揚句の果は疲れきつて打倒れるまでである、恐らくこれが過渡時代の人間吾々が、つまり當然受くべき苦き而して悲慘なる運命ではなかろうかの、

（八）

アヽ宗教なく道德なし、況んや、眞の藝術をやだ、國民は國情と民俗の急激なる變化とあらゆる凡ての物質的刺戟物とに眩惑されて、亦適從する所を知らなゐ、過去なる時代精神の殘餘と來るべき新時代の精神の萌芽とを交へに交へて、唯紛然雜復たるもの即今日の時代精神のそれである、あゝ、此の國に漫然として、何等の自覺無く何等の信仰なくして、餘儀なく生を保つ可く運命づけられし人間は、夫れ果して不幸か否歟、

雜報

●大連仁川間航通觀

今回遞信[illegible]航路課長は安奉線改築開通後に於ける大連門司間往復旅客の多數が深路仁川經由釜山に直行するか然らざれば奉天迂回鴨釜連絡船に搭乘するに到るべしとの推斷を下したるが如きも今回鴨綠運送の奉天安東縣間を假りに約十時間を要するものとして打算せん乎大連より釜山迄の鐵路時間三十九時間となり之を釜門連絡船十二時間を加算する時は都合五十一時間を費さざれば大連より門司に到着する能はず又海路仁川に出で釜山より連絡船に搭乘すとせんも大連仁川間三十時間仁川京城間一時京城釜山間十三時間及び釜山下關間十二時間計五十六時間となり何れの方面を取るも結局大連門司航船時間五十一時間の定期より遲延なる譯なり即ち之に依るも安奉路通後の旅客が同課長豫想の如き旅程に出でざる可きは明かなりと大連當業者は[illegible]



涼詠（富士頂）

●慶北の矯風會 慶尙北

道成安郡は地域の廣大なるに比し警務機關稍や不足の感なきに非ざるを以て馬山警察署所は各面に於て賊難又は火災の警備を兼ねて風紀の矯正及び公益の增進を目的とする自衛團体組織の必要を認め試みに矯風會を組織せんことを企圖し之れを郡守に諮り客月六日各面長定期例會に於て其の趣旨を説きたるに一同賛成實行の決意を示し民間の意嚮亦同一なるを以て直ちに之れを實行する手運びとなり尚各面に於ては興會成立の上は住民中二十歳以上五十歳迄の男子は當然其の會員となり三名乃至九名を一組として前記警備の勤務に服する事となりたりと

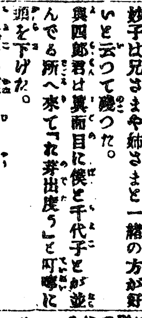
●二新藥品の發明

▲陶器用新藥品 米國ニユージャルシー州トレントンに於て無鉛釉藥を陶器に施用する方法を發見したり該方法にして完全に使用せらるゝに至らば世界陶業者間の一問題たる鉛毒より起る職工の病死率を最低度迄に減少するを得るに至るべし

▲織物用の藥品 和蘭海牙に於て織物用藥品を發明したり該藥品木綿、リンネル、毛織物、絹織等何れの纖維上にも用ゐられ其の成分は護謨にして酸化作用に依り一種の流動體となりたるものなるが此流動體を原料糸に加ふるときは原料糸若くは材料を强靭ならしめ其實質を良好ならしむる特効あり（紐育柴藤商務官報告）

●驛屯土の分布圖

當局者に於ては今回全道各地に散在する驛屯土宮庄土の分布圖を作成すべく各道廳に訓令したる由なるが道廳にては單に其所在を示すのみにても何等の功果なきを以て一道或は一郡毎の區分圖となしたる上驛屯土の廣狹地積の大要を記入することとせんかと夫々協議中の由にて京畿道にては既に其の作成計畫を定め着手せんとしつゝありと云ふ



千代子 妙子の兄

千代子さんのお母さんお父さんは十時少し前に來られた、謠や茶や會合やで吾父とは餘程昵懇の間柄とて極めて打ち解けたもの、從つて初對面の女親同志も全く隔意なき主客振りだ、僕は一寸一時間斗り話をしてから自分の部屋へ引取つた、而して刻々に變化して行くらしき僕の運命に一種の戰慄きを感せずには居られない。

「兄さん」「應」と答へる間もなくスルリと襖の之る音がして妙子が入つて來た、手にベルモットの瓶とウヰスキーの瓶とを提げて居る。

「お花見かい」と起き上ると千代子さんと[illegible]とがお膳を三人前運び込む、一つの膳には日本酒の一銚子もつけてある。

「飯なら彼方で食はう」と妙子の顔を見る。默つて膳を僕の前に押し遣つた妙子は。

「此所のお部屋が一番宜いんですから今日丈け、ね」敢て不服を唱ふる問題でない所か此の方が至極の勝手である妙子の語る所に依ると彼所のお座敷では大變お話が彈んで居て妻迚が聞いて居ても面白くないから若い者は若い伴れと此所へ押し掛けた方が宜からうつて母さまが仰云つたとの事だ。

雜談の間に千代子さんを見る、好い娘さんだと思い乍ら會食を終つたので女連が膳を下げた跡へ入つて來た父は。

「お父さまとも親類とも相談の上、アノ[illegible]さんをお前の嫁に貰はう、先方で[illegible]成つたに就いて貰ひ[illegible]格別異論がなければ二三ヶ月家を手傳はして試みることに先方も快く承諾した、異論はあるまいね」と云ふ、無論異論はないので千代子さんは其日から僕の家の人となつた。

兩親は十日斗りすると內地へ旅行した妙子は兄さまや姉さまと一緒の方が好いと云つて殘つた。

與四郎君は眞面目に僕と千代子とが並んでる所へ來て「お芽出度う」と叮嚀に頭を下げた。

千代子の顔は火の如だ。

僕に千代子さんを呼び付けにする權利があつて見れば其の親拒を辭む理由はなからうか。

●本日六頁

京城新報

併合史料の編纂
寺內總督の一考を煩はす

我政府は維新史料の編纂を企劃し、總裁以下委員を設けて其事業に着手せり而して其局に當る者の撰任一部に限られしが如きものあるを批難して、當人は政府が徒らに藩閥者流に阿諛せむがため彼等の光輝を放つ可く藩閥史料を編纂せむとするものなりと揣摩しつゝありて、可惜良擧も頗る不信用の中に環視されつゝあるも、這は要するに世人が政府に信を措かざるに因つて生せし現象に止まり、事業の性質に於て國家と不離の關係を有せるものなるは何人と雖も否認する能はざる所なり。そも一度國を建てゝより三千年、其間天下後世に傳ふべき、美蹟數を知らず、光榮ある我帝國史は實に此等幾多の美蹟を飾せるものに外ならず、殊に維新の鴻業を大成して未曾有の大革新を斷行せしが如きは、固より聖天子の御威德に頼るとは云へ、又人傑雲の如く起り此盛擧を援けまいらせし結果ならずむばあらず、乃ち國民の自覺遜つて大を致せしものなるを以て、之を不朽に傳へ依て國民性を陶冶すべく、吾人は維新史の完成を最も急務となすと共に、維新史の完成は國民の誇りとし且つ國家の光榮とするに足るものなるを思ひ、此際政府は誠實に斯業の完美を期することに鋭意努力し世人の誤解を正さむことを切望して已まざるなり。然るに聞く所に依れば、維新當時の關係者が多く凋落して存在せるもの少なく、爲に史料散佚して之が蒐集に就て政府は甚だ苦心しつゝありと、稽ふるに修史の事たるや國家の有ん限りは決して閑却す可からざるものにして、一旦起れば隨つて之を録するの用意なくむば、終に的確なる史料を得るに困難なるは蓋し必然の事なりと言はざる可からず。思ふて玆に到り吾人は維新鴻業の賜とも言ふべき韓國併合の大偉績をば、今日關係者の現存せる際に當つて、万世に傳ふ可く其準備を爲し置くの必要なるを感ず、而から吾人の準備と云ふは韓國併合史の史料編纂の事即ち是也。

屢々言へるが如く、韓國併合は二千年來の一大懸案の解決せられしものなるも、國勢の膨脹を促かすに至りし維新の鴻業を見ることなくむば、或は未だ此大偉業を斷ずるの機會を捉ふるを得ざりしも知るべからず、然して機會來るも國民の氣慨にして國家の進運に伴はざらむか、焉むぞ克く効果を全ふするを得んや、韓國併合の聯絡之を要するに維新の鴻業遠く因をなし、陛下に忠實なる國民の奮勵努力近く其果となつて現はれたるものなりと言ふも誰か之を否まむ、殊に我帝國は古來より幸か不幸か島國と目され國民亦島國を以て甘んずるの風あり、維新後琉球臺灣を併せしと雖も依然島國の域を脫せざりしもの、韓國併合後一躍して大陸國となりしのみならず、歐洲學者間に島國が大陸に領土を保有するは其維持の困難なるを唱へられ、英國の如く否所に領土を有せるものすら、嘗て歐足を歐洲に伸はせしことあるも忽ちにして失敗し、方今歐羅巴大陸には尺寸の領地を有せざるに反して、我帝國が對岸の大陸に領土を獲得せしは、眞に記錄を破りし一大壯擧なり、歐洲列強が半島の統治に注意を拂ひつゝあるも蓋し所以なきに非ず、如此大陸國となりし國民の氣慨も亦大陸的ならざる可からざるは勿論、幾千年の經過も國民氣慨の向上を促がし、且其自奮の資となるべきものに、史實を除いては他に代はるべきものなし、吾人が韓國併合史料編纂の必要を唱道する理由は全く玆に胚胎せるものなりとす。

今や維新史料編纂の業は端緒を開けり吾人は之れと相俟ちて韓國併合史料の編纂に着手せんことを政府に望まざるを得ず、而して編纂の方法として、先づ史料蒐集の限界を三十七年二月日韓議定書によつて日韓保護關係の設定せられてより併合の大事決行せらるゝに至りし迄と定め、其間に於ける三十七年八月の日韓協約四十年七月の第二協約を始めとして日韓交渉の顚末、我施設等之に伴ふ大小の事總て洩さず、關係者は伊藤公を中心として擧て之を表彰するを旨とし、其從屬機關は之を總督府取調局內に設け寺內總督統裁の下に官民兩者中の關係者より委員を選定して事に當らしめむか蓋し維新史料の編纂に比して容易に完成を告ぐるに至る可し。唯玆に注意す可きは、併合の事官吏のみによつて決せられしと爲すが如き曲解をなして、民間に於ける關係者の功勞を湮滅せさらしむ事是也。想ふに、吾人の主張を以て閑事業なりとし之を排せむとする者なきを保せず然れども开は修史事業の性質及び史實の世人に及ぼす影響の如何を解せざる低見者流の言ふ所なるを以て、寺內總督は斯る妄言に耳を假さずして、能く吾人の言に考慮し、其東上前に於て聊かなりとも、併合史料編纂の端緒を開かれむことを、吾人翹望して已まざる也。

東京電報

▲朝鮮軍制改正

朝鮮駐剳軍司令官大久保大將の現役定限年齡滿了後は朝鮮駐剳軍司令部を廢し總督府に陸軍部を置く事に內定し該改正條令は目下起草中なるが寺內陸相歸任の上閣議に提出さるべし

▲英國輿論沸騰

モロッコ問題に就き英國の輿論沸騰し特に獨逸軍艦が英國の北方を通過せる日示威運動を爲せるものなりとて痛く英人の神經を刺激したり

▲仲裁條約

米佛間の仲裁條約締結されんとする模樣あり

▲母國の天候

沖繩沖にありし颶風の中心は突然東北に向ひしが更に廿五日朝北東に向ひ滿州北部の低氣壓は樺太に向ふ高氣壓は本州東海岸より小笠原島列島に擴張す

▲東京大暴風雨

既報の如く沖繩沖にありし颶風の中心は東北に突進し昨二十五日午後十一時頃より東京地方は大暴風に襲はれ各區家屋の倒潰、板塀、樹木の倒れ數知れず州崎遊廓二軒倒潰し多數の負傷者を出し尙は娼妓十五名行衛不明となり木工會社も倒潰したり

▲大演習司令官

今秋福岡縣下に於て擧行さるゝ陸軍特別大演習南軍司令官は南軍川村[illegible]北軍大島教育總監に略內定せりと云ふ

▲東郷大將渡米

東郷大將は二十九日リバープールよりルシタニア號にて大西洋を横斷し渡米の上九月十四日横濱歸着の豫定なり

▲全國トラホーム會議

內務省にては來る十月三日より約二週間東京帝國大學醫科大學に於て全國トラホーム講習會を開く

▲電車局長選任難

東京電車局長の撰任は困難にて其有力なる候補者と目されし田健治郎男は拒絶せり

▲飛行機飛行演習

所澤に於ける陸軍飛行機飛行演習は連日行はれつゝあり

▲遣英艦隊の行程

遣英艦隊鞍馬利根二艦は廿三日佛國アーブルに着せり

▲常設博覽會計畫

常設博覽會協會にては廿五日發起人總會を開き定款を可決したり近日設立認可を申請する筈

雜報

●滿鐵連山調査

清國滿鐵は旣に十年計畫を以て連山灣の築港に着手せしが同港は地勢上良港となるべき見込あり其築港完成の曉には大連の業界には至大の關係を及ぼすべきを以て滿鐵に於ては今より之れに對する方策を研究し置くの必要あり去る二十日の滿鐵社友會に於ける水陸連絡會議には滿鐵副總裁國澤氏、內田鑛[illegible]、[illegible]崎埠頭、西村運輸課長、堀技師等出席し此問題を研究せし由なるが近日中に同社は內田技師を連山灣に派遣して之れが調査を爲さしむべしと

●鮮魚冷藏輸送計畫

鐵道院にては本年度に冷藏貨車百五十輛を新造する筈にて目下四日市工場に於て製造中なるが內既に三十輛は竣工せし由右車輛は主として東海道及び山陽線に使用し門司附近並に朝鮮沿海に於て漁獲したる鮮魚を京坂地方及び東京へ輸送するに充つる筈にて一部分は東北線に使用し北海道青森地方に於ける鮮魚の輸送を爲すべく尙該冷藏車にて冬期に林檎等を輸送する時は少しも傷かざるを以て冬期は是等果物の輸送に充つと

●滿洲電線の不通と朝鮮

南滿洲より日本に至る電信は大連より佐世保に直通するものなるが該線は去る十八日より不通となりしを以て兩方面の電信は悉く朝鮮を經て內地へ往復するに付き全体に於て遲延を免れず不通の原因は海底電線の切斷にて之に基くものなれば之れが復舊は約一ヶ月を要すべしと云ふ

●最近の電線工事

本年四月一日より六月末日に至る通信局經營に係る電信電話工事の狀況を記せば左の如し

▲遞信省に於て巨文島と興陽牛島間に新に海底電線を沈布し通信の利便と速とを圖ることゝせしを以て總督府に於ては之れを連接すべき順天興陽牛島間電信線路を新設することゝし六月六日本工事を竣了せり其の新設里程五里線條の延長里程二十一里餘とす

▲釜山郵便局在來電話交換機は單式なりし加入者の增加に伴ひ之を[illegible]信號付複式交換機に變更し併し同廳舍新築に伴ひ電話交換裝置一式及電信機械一式を新廳舍へ移すことゝし孰れも前年度來計畫施工事中なりしが漸く其工事を終り交換機は六月十八日電信機は六月二十五日無事移轉せり

▲京城下の關間二重通信回線を高速度二重通信回線に變更することゝし之に伴ふ釜山局自働中繼盤並に京城局通信機變更工事は五月一日竣工せり

▲下の關釜山局單線通信回線を京城大坂間高速度自働機通信回線に變更することゝし之に伴ふ京城局通信機變更並に釜山局に高速度自働中繼盤裝置工事は五月十日了せり

▲元山鬱陵島間回線を松江に延長し元山松江間現波通信を實施することゝし之に伴ふ元山局現波通信機裝置は六月二十五日竣工せり又本通信を完全ならしむる爲元山より長白串里陸陽地に至る陸線を復線變更七月上旬竣工ノ豫定なり

●遂安と新金鑛

遂安郡遂安面水口面漢城鑛業會社は豫て同郡泉谷面培に於て金鑛を發見し本月上旬より試掘中の處鑛石の産出尠からざる見込にて米國人二名監督の任に當り工夫百余名を使役し晝夜從業し居れるが目下の處牛馬の通じ得べき道路無きため將來盛んに鑛石を搬出するに至らば輕便鐵道を敷設せんとの計畫あり

●釜山府內農事經營者

釜山府管內農事經營者に就て釜山府廳にて取調べし所に依れば經營資金一萬圓以上の者二十二名其總金額百萬六千百五十圓にして種別は水田七百八十六町六反、畑五百二十二町七反、山林千〇八十六町六反、原野八百六十七町五反歩にして又一万圓以下の經營者五十七人總投資額十八萬九千三百三十圓其の經營面積水田三百八十七町七反二十一畝畑百七十五町一反二畝、山林六十六町六反、原野百三十二町六反歩なる右の內最多額投資者は迫間房太郎氏の約四十万（農業地のみにて）なり

●安東縣の製糸會社

安東縣の李興學道臺は此程同地の紳商を召集して資本金二十萬圓の柞蠶製糸場を新設せんことに就て相談せる由なるが其の結果地方經濟力餘裕無きを爲め補助費の支出を不日趙總督に出願することとなりたりと

●水産組合規則起案

農商工部水産課にては目下漁業令の改正に伴ひ水産組合の組織變更を見るべく其改正規則起案中なるが何れ漁業令實施期迄には發布さるべしと云ふ

●蔚珍銀鉛採掘

江原道蔚珍郡遠北面中元洞の官有地原野山林三十九万坪に亘る銀及鉛の鑛區は咸南元山港在住吉田秀次郎氏が客年六月其の筋より採掘の認可を得たるものなるが本月八日より中島芳太郎なるものを從事者として採掘に着手する筈なり

●京畿管內大營農者

最近の調査に依れる京畿道管內に於ける投資額一萬圓以上の農業經營者は十名餘に過ぎずして其の投資額及事業の概要等を聞くに中村再造氏は中村農園部と稱し資本金一萬三千五百三十五圓を以て京城に畑六町七反歩に果樹蔬菜の栽培をなし河野修造氏は植物園と名け二萬千八百五十二圓にて京城に畑一町五反歩に果樹蔬菜の栽培及觀賞植物の販賣をなし樋下田仙馬氏は一萬圓にて水原に田三町步普通農事をなし岩崎久彌氏は東山農場と稱し三十七万五千百十九圓の資本を以て水原其他に田二千二百七十九町四反歩に於て普通農事をなし[illegible]國民合資會社は十二萬六千五百圓を以て水原に三百五十九町二反歩の水田經營をなし北澤小八郎氏は[illegible]一萬四千六十圓の資本にて水原に田三十七町一反步に普通農事以外に果樹造林を目的とし荒井初太郎氏は荒井牧場の名義にて一萬二千五百七十圓を以て山林原野畑等三百卅五町四反步に牧畜造林をなし小峯源作氏は一万五千圓にて富平郡に田畑山林七十九町九反步に果樹蔬菜造林をなし深田與三兵衛氏は興農社と稱し二萬五千圓にて振威郡に田畑八十三町七反步に普通農事をなし大西文三郎氏は葡萄園の名義にて五萬圓の資本に田畑山野四百九町四反步に果樹蔬菜の栽培をなし居れり其他小資本の經營者少なからざるも上記の如きは今日に於ては最も有力なる農事經營者と云ふべし

●北青の害虫絶滅

咸鏡南道北青郡北青地方に發生の夜盜蟲は其の後同郡農事獎勵會に於て熱心驅除の結果今や殆んど其の絶滅を見るに至れりと

●害虫驅除督勵

過般來京畿道江華郡松亭、華陰、三海、良帖、仁政、佛恩の各面に害蟲發生し松葉其他の樹葉を蠶食し被害益々多大ならんとするより江華警察署にては去る十三日より十九日に至る間署員を派して人民を督勵し專ら害蟲の驅除に努めたるが其の捕取高前記各面を通じて實に七石六斗五升に達し尙引續き驅除勵行中なりと云ふ

●郡參事の任命

京畿道廳にては管內二府三十六郡中四五月頃二三郡の參事を任命したるが今回七月廿四日付を以て楊平郡外十郡に各二名宛の參事を任命し各年手當五十圓を支給することゝなりたるが各參事とも何れも郡內に於て信用、德望、資產あるものなりと云ふ因に未だ參事の任命を見ざるは仁川、始興、抱川の一府二郡なりと云ふ

●夏期講習會

本年度各道內地人小學校教員夏期講習會は豫定の如く二十六日午前八時より日の出小學校に於て關屋學務局長芳賀博士、西澤講師以下會員百二十餘名列席の上開會關屋局長より一場の挨拶ありそれより芳賀博士の國語科及西澤講師の物理化學の講義等あり正午散會したり因に會期は來る四日迄なりと

●鮮人夏季講習會

京畿道主催に係る鮮人夏季講習會は去る廿四日より官立漢城師範學校講堂に於て開きたるが定員百五十名に對し百六十餘名の出席者にて出席者は皆公立私立の普通學校教員にて午前八時より十二時迄

●嚴妃墓地決定

嚴妃の墓地選定に就ては種々審議中の所二十五日午后三時洪陵閔妃墓地の附近と決定し晝夜兼行にて土工に着手し來る八月一日迄には竣功せしむる筈なりと

●群山通信（前號續き）

◎近來內地當港間一層廣き意味に於て云へば內地と朝鮮間米價の關係と南北滿洲浦潮斯德港乃至歐米諸國に於ける朝鮮米の新需要は全く輸出關係を一變し從來需要範圍は日本に限られたる觀ありしも時勢の進運に伴ひ一躍世界的となり而して益需要增進の趨勢なり之れを以て當港の當業者の如き夙に此機運を看取して其畫策に怠なく就中少壯貿易業者にして明敏敢爲の氣に富み其人ありとして知られたる岩田本店主岩田豬之助君の如き過般既に身親しく浦潮斯德港の米况を視察し將來密に或種の計畫を試みつゝあるもの〻如く今秋の出穀期に至らば當港當業者の活動は蓋し刮目して見るべきものあらんと存ぜられ候

◎之を要するに天下は廣し世界は大なり米を需要するもの何ぞ日本とのみ限らんや歐米あり北滿南北滿洲あり乃至浦潮斯德港あり此等の諸國に於ては近來朝鮮米の需要關係として加はり將來朝鮮米[illegible]て、這般の好市場なれば此際當業者たるもの奮勵一番大に努力せざる可んやの秋に有之候（笑面生）

●京義線一部復舊

京義線平壤新安州間は去る廿二日午後三時四十分北行列車より開通し廿三日より二回往復し新安州嶺美間は約二週間不通の見込に付き旅客は此間を徒歩し新嶺間を毎日二回往復し聯絡する筈又安州は二十五日午前十時全く退水し新義州に於ける安東縣渡江は晝間丈開始する事となれり

●德壽宮朔日祭

二十六日は舊曆閏六月一日にて嚴妃逝去後初めての朔日に相當するを以て德壽宮にては午後三時より朔日祭を行はれたり

●王世子の接見

王世子殿下には御滯在中毎日午後二時より三時迄石造殿に於て訪客に接見せらるゝ由

●昌德宮午餐會

二十七日は昌德宮定例午餐會日に付王世子殿下にも御會食遊さるゝ由當日は李完用伯其他重なる貴族陪席する筈

●分隊長署長會議の終了

京畿管內の憲兵分隊長、警察署長等は去る二十四日憲兵司令部に於て明石司令官の訓示を受け[illegible]

●中山大佐の[illegible]

[illegible]

仁川港出入船舶

△長州丸 廿七日 横濱より入港
△鎮津丸 同 長崎より入港
△長州丸 同 大連に向け出港

京城手形交換高

二十六日 金高 八五、六二二、三二〇 枚數 五三

▲治外法權▼

[illegible]



召使れ初

第百十三回 黒法師

「いゝえ、控ねませぬ、什麽と仰せられても控ねませぬ」とお察は儼然云ひ切りて「相生様待たせませ」

相生は漸く心を沈着けて、お察の顔を沈と見入り

「誰かと思へば、うなた察ぢや喃」

「お中臈お道様召使ひでござります」

「うの察が什麽として此處へ来た、又什麽として口を出した、うなたなど關係る事でない、退らう」

「私、身分のない下司女ではござりますれど、忠義の道に心得はござりまする、この目に曇りのない間、黒白は観分まする」とお察は力ある聲にて云ひつゝ「只今これにて承はる儀、お峯どのを御謀反と仰せでござりましたな、お乳母どのを謀逆人にしてお廣敷お役人へお届けあらせられる心でござりましたな」

「うなたなど陪臣の出る處でない」と相生は抑へ付けるやうに「姫君御前ぢや、様々うれにあらせぢや」

「姫君御前をも憚らず、陪臣の身が要らぬ差出、お咎めはいかやうにも受けまするなれど、先刻よりの一伍一什、私、篤と承はり居ります、假へ什麽と御訴訟ござりましても、私、何處までも罷り出て、此場の始終申し上げるでござります」

「ぞ、さらばうなた、お乳母どのを御謀逆でないといふぢやの」

「御謀逆どころではござりませぬ、お峯さまは懸命に、忠義の眞をお盡し居られるでござります」とお察は憚る處もなし

「こりや聞ま處、お峯どのが忠義ぢやとの、御懸領にお生れの様々を貶めて、富貴妃様ばかりを天にも地にもあるまじきやう云ひ觸らし、うれが什麽の忠義ぢや喃、うなた要らぬ處へ出て要らぬ事と云ひ張り、お年寄衆皆様のお憎みを受けるよ、早う退りや、お乳母どのが何うならうと、姫君が什麽とあらせうと、そなた存じの外でないか」と相生は柔かなり

「これ〳〵」と、澤野は聲かけ、「其處の女、そなたは道どの召使ひ喃」

「御意にござります」とお察は謹んで

「旦那様申し付け、お花屋敷へお花採りに参る途、先刻よりの一伍一什、聞らずも聞き申してござります」

「いや、さうではあるまい」と澤野は口を歪めて「うなたも亦謀逆の一味、お乳母どのへ密事合談、その爲めに参つたの」

「菊、花は消うござります、露の濁りもござりませぬ」

「口賢ういふても協はぬ、うれ皆さま、この女縛し上げ、白狀を爲させませ、その懐にいかやう秘密を持つてあらうも知れませぬ」

「よい處へお氣付き、お廣敷、お役人衆へ申し上げるよりも、この女を縛し上げ、白狀さするが捷徑でござります」と相生及びうの他の女中ははら〳〵お察を取り巻き「御不審があるじつと居やうぞ」

「私が……」とお察は詞を改め「什麽となされます」

「縛し上げて白狀させる、恐しい謀叛の同類、其處動くまい」

「お慮外ながら、私にも主人でござりますで、あなた方御自由にはなりませぬ」

お察は忽ち身を起しぬ、お峯は小さき爭ひより、一大事になりたるを氣遣ひて、此場の結局、いかに付くやらんと案じながら、まづ大切なるは姫君、様々御身に故障あらせてはなるまじと、富貴妃様を兩手に抱いて、取り鎮したる様もなく立ちたり





▲病室落成▲
▲入院隨時▼
一般外科診療
京城旭町壹丁目六十七番 (電話六九二番)
京鈴木外科醫院
時間 毎日午前八時ヨリ正午迄 月水金午後四時ヨリ六時迄 (毎日曜及大祭日休)
前大韓醫院外科主任 醫學士 鈴木謙之助
六百六號注射の際に應ずワッセルマン氏梅毒有無の診斷法を始む

今回諸事改良をなし最も便利に取扱申候
靜養所 仁川 八景園 (電話五五二番)

●弊店特色 ▲確實 ▲懇切 ▲秘密厳守
●有價證券に對し低歩を以て融通の便宜取計ひ可申候
公債株式現物問屋
京城旭町一丁目
井上清商店
電話長壹六五番
◎株式界は大勢に反抗しつゝあるも早晩意外の活動ある乎と被存候◎期米の波瀾も目睫に迫り日々入電總ての機關具備致居候

大聲發音器

日本朝鮮 音譜 各種品揃
音譜目錄無代進呈
地方の御注文は振替口座又は引換小包にて御送附可仕候



日本蓄音器商會
朝鮮總代理店
歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商
京城本町
辻屋
電話二四八番
振替口座八七番

M.C.C.
土紙 耳香 古賣
エムシーシー
專賣局の定價は百本に付金五圓貮拾錢なるも朝鮮内は大安賣
京城、平壤 龜屋……釜山、木浦、群山 高瀨支店

◎業務擴張
京城事務局設置廣告
京城南大門通三丁目三一
代議士 辯護士
森肇法律事務局
電話長一一三五番
平壤事務所は從前の通り業務取扱可申候

確實です
所謂唐川式に
時節柄蚊帳類は最新式縫目なし染分蚊帳全部關戸蚊帳株式會社特製品
吳服類は關東織物京阪流行の粋中の粋を撰んで居ります
綿類蒲團調進廉價で確實に仕立入念極めて迅速に御調進致します
是非共御來店を願ます
地方よりの御注文は品質を撰んで御發送致します
京城明治町二丁目 (電話二六二番)
唐川吳服店

最上醬油
京
永登浦大塚釀造所

弦齋流割烹
すし 津祢
南山町一丁目
電話千五百二番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
韓國銀行
支店出張所 (大坂、仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、新義州、安東縣)
電話 本店 壹參壹番 六貳番 壹貳六〇番 壹貳六壹番
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

新荷着
浪平板 洋釘 各種
多數御入用の御方は特に安價に御相談致可候
京城本町貳丁目
和洋金物商
佐野彥藏商店
電話一六三番
振替口座 京城 一三〇番

▲▲▲▲
諸紙諸帳簿
柳行李雨傘
襖紙文具類
名刺臺紙
右精々勉强可仕候間多少に不拘續々御用仰付被下度伏而奉願上候
●追て市内は電話にて御用命被下候へば早速持參可仕候
●地方は御注文次第迅速に御送付申上候
仁川新町三丁目
野田紙店
電話四四番 電略(ノ)又ハ(ノタ)
振替口座(京城三六二番)

齒科治療
本町六丁目 (鞍そば横町)
ドクトル 中村安子
女子見習募集委細面談 (電話一五八三)

夜間診察は九時迄
入院隨意
六〇六號注射の需に應ず
仁川病院
電話六番

總督府及諸官衙御用
荷物運搬 引越荷物受負
伊藤組
本町 電話四〇番
南大門 電話七三番
大和町 電話九四番
同第二 電話一六八番

辨館には夜警の設備有り
御客樣の安全此の上なし
特定 陸軍指定旅館
の好 鐵道院指定旅館
き事 仁川水産組合指定旅館
第一 各保險會社指定旅館
なり
仁川濱町
旭屋旅館
電話二五一

朝鮮名產
鶴乃箸
京城本町三丁目 電話二五〇 振替朝鮮四八
製造發賣元 海市商會
京城本町四丁目 (電話九五六)
特約發賣元 日之出商行
京城本町六丁目 (電話二一〇)
特約發賣元 西崎本店
〇鶴の骨細工種々
〇鶴の羽細工種々
〇朝鮮土産品種々

優等
清酒

●新荷着
酒精アルコール
仁川花町一丁目 (電話六五〇番) (電略ナ)
坂倉支店



釀造元
仁川宮町三丁目
深見勝三郎
電話二四八番
電信略號 フ

特製
實味噌
御料理向
味噌醬油製造 醬油販賣
仁川本町三丁目
たからや
電話七三七番
賣價は白と赤との二色で味好と天下一品

本場精撰
茶
右銘茶各種新物續々入荷に付卸小賣とも大勉强仕候間多少に不拘御用命願上候
仁川本町四丁目 (府廳通)
田中芳春園
電話四五〇番
振替京城五〇二番

最上醬油
特約販賣
仁川高雄京城支店

入院隨意
京城本町三丁目 (電話三七八番)
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

芙江 公州 間定期出帆
芙江發毎日午前七時公州着同日午後一時四十分
公州發毎日午後四時芙江着翌日午前六時
御客樣の乘船用として新聞雜誌碁將棋等の備付あり
京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

キ 瀛船出帆廣告
三省丸 天草丸 成歡丸 海利丸 成歡丸 慶取丸
七月中
屯串行 七月八日 午前八時
海州行 七月廿八日 午前四時
蕎島行 七月 日 午前八時
海州行 七月 日 午前三時
汝湖芝行 七月三十日 午前八時
門同直行 七月 日 午前 時
仁川本町四丁目
合資會社 秋田商會船舶部
電話一七三番 七五〇

京城 藝妓の半生

翡翠樓右女助（一）

曾つても白狀致した如く花月、翡翠、松葉の三軒では甚だ三面記者を嫌つて居る、三軒のみには限らん、と仰云るか然らば貴君も何やら臭い弱身があるので御座らう、警察署の刑事係を恐ろしがるものは不良民であると同じで御座るワ、と一つ威張つて置いて扨左樣云つた事情ですから此れも矢張り記者が知り得た所を紹介する、右女助彼れは猛烈に金錢の尊ぶべきものなることを知つて居る、併し彼れは守錢奴ではない能く集めて能く散ずる、即ち能く賣つて能く買ふのである證據は彼とも云ふ可き慎ぐた眼にかけることが出來る、彼の故郷は東京芝區芝口一丁目で今より二十一年前新橋停車場發横濱行の一番列車がポーと長く汽笛を鳴らして出ると同時に八官町の時計臺を睨んで母の腹を後足で蹴つて御誕生に相成つたのである、本名は五十嵐とよと云ふ十三歳の春富士見町に雛妓で出た十四歳の九月には既に御用商人の青木敬藏（當時三十三歳）と云ふ人を見付けた、流石に山王さまの氏子程あつて器用なものである、斯うなつて見ると少々は金錢が廻るので旦那一人を守つて居るのが馬鹿らしく十五歳の暮れには鷄人狂ひを初めたが大した事でもないから旦那にも知れずに十八歳の秋落籍の相談があり夫れも累整ひかけた時も時誰れが吹き込んだものか不檢束の一埒が旦那の耳に入つた青木さんの曰く「元來藝妓でも仕樣がないものに左樣な事のあつたは聞いて聞かぬ振もして居ようが相手が落語家柳家小さんの弟子の前座小柳とあつては愛想が盡きた以來一切關係なし」と鰐か何かの淚金で手は斬れて終つた、鰐ひ知らなつて見ると木から落ちた猿も同前此れで略ぼ迷ひの夢も覺めるべきを結局此れで略くしさと吹れから云ふもの公然と小柳を引つ張り回す小猫には過ぎた藝當と今日迄一切中止して居たのだが吁天を演じたのが身の破滅れ定まり

借金に首も回らぬ身の破滅

になると聞くやタシナミもなく取亂し三月も前から銀盃を注文して兩人で半分宛飮むんだワと夢中になつて居る處へ乘り込んだ花龍、斯くと聞いて荒岩時代の凄腕を揮つたので玉千代玉となつて碎けて終ひ「親方フルと良いワねわフルとね江」澤山になる程降つて居るのにフルと好いフルと好いを連發せらるゝには流石の花龍顏を顰めて「ウー僞にヤアなア」

無情なるかな今年又々角力が來ること

四十三年の五月翡翠樓主が東京に滯在して藝妓を探して居たのに周旋する人があつて抱へられる事と成つて六月の上旬から當地で左褄取つて居るのだ藝は此れと云つて取り立てゝ申す程の事もないが例の愛嬌に加ふるに富士見町と云ふ例の本場を踏んで來た丈けあつて有數の流行妓となつた次第である

●朝鮮貴族を詐欺

▽小島、阿比留等起訴さる

長崎縣下縣郡嚴原町大字國分三十一番地當時南部大坪坊長橋通り二十五統六戶居住小島勝（四七）が從來水產業に多少の經驗あるより朝鮮に於て經營せんとしたるも資力なくして目的を遂せざる爲め四十二年十一月頃より朝鮮語熟達なる同鄉人阿比留銈作と共謀して李載克公李址鎔伯鄭觀朝、趙鍾緖、李皓李書應崔錫彰外數名に對し朝鮮沿海にて漁撈に使用し「トロール」網を以て漁し上流の鮮人と交際を有せる聯て懇意業を爲さば莫大なる利益ある事を說き付け合資會社を組織して大陸社として數万圓を出金せしむる事になり既に五千八十餘圓を受領せし僞事業に從はず濫費を極めたる事は昨年本紙の報導せる處なるが該事件は伊東檢事の係りにて遂に豫審に付せられ取調中の處千八百圓を橫領費消したる事判明して豫審終決し二十六日伊東檢事の手にて公判に廻されたり

●玉千代拍子の雨乞

▽可愛い〻花龍中五郎

此の調子で何うかモウ十五日も降つて下さると妾しやタンノウ致しますと他人には秘密に照々坊主の反對に雨乞小町の錦繪にフル池の水やら三寶代りのフルヒのフルイのにフル、樽鼻褌の長々とフルイ如にとパイナップルの罐詰やら何んでもフルと名の付いたものを供へて一心に御幣をフツて降らして下さいと降りますと樣に而して京城の家も人も流れて終つて妾ども五郎さんと共に乘れば雖住いけど左樣も行くまいから兎に角ショボ〱降つて頂戴降れば立たないけど降らねば立つんだからフラして頂戴と一生懸命に新顔を凝らして居る女と云ふが即ち翡翠亭の玉千代姐さん昨年稻當龍の一行中に年寄花龍中五郎と云ふがあつたのと交情よくなつたので百圓斗りも借金が殖ねたので一行當地引き揚げ後は溜息なるものとばつく〱と「實際貢食ひは身の毒だワねエ」

●安命根等控訴す

去る二十二日當地方裁判所に於て强盜及强盜未遂罪として處罰を受けたる安命根外十七名及同保安法違反として處罰を受けたる梁起鐸外十四名の控訴期間は二十六日を以て滿了の筈なるが去る二十四日より二十六日迄に控訴及控訴權拋棄者の氏名を記せば左の如し

一、强盜及强盜未遂罪の部

安命根、張倫根、張敬鎭、韓顧數、韓享稷、朴亨秉、崔明植、金益淵、金鴻亮（以上控訴）

金龍、金庸濟、李承吉（以上控訴權拋棄）

他の六名は當然服罪のものと看做さる

二、保安法違反として處罰の部

金成柱、高貞華、柳文聲、金容奎、金道熙、金容奎、權泰善、鄭達河、（以上控訴）

梁起鐸、林蚩正、金熙祿、安允在、甘翊龍、安泰國、朱鎭洙（以上控訴權拋棄）

●前身は泥棒なり

仁川海岸通りの或る役所の腰辨先生が近頃大面をすると云ふので兎角同僚間にても蛇蝎視せられつゝあるが近日鎭南浦より渡來したる某氏の語る處を聞くに元第一銀行鎭南浦支店員に白木原常策（二十七）と云ふがあり去三十八年頃同行事務室の抽斗より倉庫の鍵を盜出し金箱一個千圓を窃取し鮭に水ど空嘯て居たるに天網何ぞ彼等惡漢を免すべきに非ず遂に鐵壁の裡に臭い飯をかじつた出者なるに出獄後監視執行中仁川に來り兄の力により前記某役所に出勤し大面するとは言語同斷の奴なりと憤慨せり

●チブス患者死亡

本籍宮城縣刈田郡齊川村字屋敷十七番地當時龍山鐵道局官舍及び同地部山元町三丁目四十八番地土工夫某（三二）は腸窒扶斯に罹り療養中なりしが二十五日何れも死去せり

●七圓四十五錢の男

本籍山口縣山口町驛百二番地生れ當時龍山元町四丁目二十七番戶丸屋洋服店職工坂本文作（二〇）は去る十四日夜龍山桃山遊廓第二種料理店桃山樓中島すみ方へ登樓し娼妓松枝事酒水はま及小三事島うたの二妓を相手に酒肴を命じ遊興したる所懷中無一文にて遊興費金七圓四十五錢の仕拂出來ず前記中島より無錢遊興者として龍山警察署へ告訴せられ引致せられたりとは自業自得と云ふべしと

●殺人嫌疑者放還

大和町一丁目ドラック商會に於ける强盜嫌疑犯として南部署は三名を逮捕約一ヶ月餘に渉り拘束して嚴重なる取調を爲したるが證據薄弱にて物にならず二三日前身柄を放還したりと

●除相集保釋出獄

前の仁川府監理にして印刷局技手たりし除相集（一通稱セサカと云へば三才の童子も克く之を知る）は或る重大事件の爲め嫌疑者の一人として數月前より京城地方裁判所仁川支部に拘引せられ豫審中なりしが二十五日保釋を許され出獄せりと

●總督對公判延期

總督對秋吉氏の訴にかゝる朱安鐵田事件は京城地方裁判所仁川支部に於て審理中にて二十六日判決言渡しある筈なりしが都合により明二十八日判決言渡しあるべしと云ふ

●仁川の腸窒扶斯

仁川花町二丁目三十一番地柴田實方石井儀三郎は二十五日腸窒扶斯に罹り避病院に收容さる

●懲役

大和町一丁目三百三十七番地村川方福岡縣八有本淺太郎（二六）は窃盜罪にて懲役一ヶ月に處せらる

●大相撲三日目

朝來の雨も午後一時頃降り止みたるを機會とし三日目を出したり四日目の取組は左の如し

敷島　勝田嶽　輪飾　玉ノ川
大崎　八ツ房　金ヶ花　小野崎
太刀音　平の石　大蛇潟　陣立
鏡川　有明　五十嵐　寒玉子
鐵甲　土州山　鳳　上ヶ汐
國見山　伊勢濱　黑瀨川　太刀山
京日社れ好み番外　鏡川　陣立

●婦人法話會大會

婦人法話會にては本山特派布教使小松理英氏の入京を機とし明二十七日午後二時別院本堂に於て臨時大會を催ふし平松氏の講話ありたる後別室に於て會員の爲め紀念品の配布及餘興等ある由なり

●パコタ公園の演奏

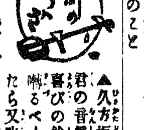
二十七日午後七時よりパコタ公園に於て例の如く陸軍樂隊の演奏あり其曲目左の如し アルフレッド世子マーチ、ヤムパ序、ワルツ、エピナール洋上夢想、花嫁の舞、天上の娘子、日本歌曲三下り、蝙蝠の劇曲

●月並親鸞講並說教

若草町一丁目眞宗本派大本山別院にては二十八日午後八時より月並親鸞講を修し主任老師の說教並に鉛野道宣氏の孝道に就て法話あり尙は隨身要水の問答和讃ありと

●クラブ音樂隊の來鮮

代表的化粧品として絕大の好評あるクラブ洗粉クラブ白粉クラブ齒磨の本舖中山太陽堂にては今回朝鮮に於ける同化粧品の販路擴張の爲め花の如き少女音樂手數名を引連れ近々來鮮の筈にて朝鮮よりは大々的樂隊廣告を催すと云ふ京城は勿論遠く奉天迄へも練廻り大々的朝鮮代理店たる當市永樂町二丁目藤原支店にては今後一層確實迅速を旨とし半島各得意のため便宜なる取引に應ずべしとのこと



▲久方振りにて箒之助君の音信に接したるを喜びの餘り郵雀も少々嘲るべく候れ氣に障つたら又叱つて下さいよと申置き候▲今日此の頃の霖雨にてプウン〱と數數の蠅も細く紫陽花の色冷たく褪せ行く夕暮れ漢城病院の病室より天の一方を仰ぎて境遇を懲み未來を考へ嘆息致し居るは京城樓の鈴子に御座候▲同樓の藤子は丸ポチャの初々しき處が呼び物となり居候▲同じ家の柚子は入院中の處退院戰線に加はり申候▲井門支店には叶枝、しづ枝の二名れ職爭ひで惡戰苦鬪中に候が其の爭や君子にして公々然と行つてる處感心なり▲同樓の二枚愛嬌者の濱枝は戰鬪力を失ひ入煤中なりしが近々仟務に服する都合なるが人氣者のことゝて待ち遠しがつてる人が澤山に候▲日曜樓の新妓月曜は元仁川敷島の五郎にて候此の妓には自分でも云ふ如く一つの疵がある、と云ふのは何の客にも惚れたがる事にて餘り親切にする爲め大抵の客に恐かられる事に候跡は明日（廓雀）

●演藝だより

▲歌舞伎座　初日より大入好人氣を博せる借の家二〇加曾我廼家合同一行二十七日の替り狂言及配役左の如し

三重島臺（二場）西洋洗濯（四場）れ染久松（二場）妾宅（二場）仲人阪本、久作（小半）久作娘れ光（尾半）番頭小助（國三郎）和田（東市）

▲壽座　木村一座二十七日の代り狂言「袖時雨」全十場なりといふ

▲浪花館　連夜浪花光廣一行の浪花節



▲二十一日正午頃漢城病院の入院患者に面會に御出の方の內に洋傘（女持）鐵色無地と黑色無地を御間違になつた方は病院受付までれ願ひします（玉〱）

▲總督府鐵道工事部石仕事は一切日本人石工斗り使ふ譯の所が支那石工斗り使つて居るので月本石工は皆餓ゑんで居る（石工總代）

▲韓國銀行の國庫金取扱は實に煩雜で納稅人は困まる內地國庫の制度簡單にして貰ひたい（納稅人）

▲糞尿掃除人が日中何時でも構ひなしに通行するに就ては何とかして貰ひたい日夜から日出迄とか云ふ風に（有て居た男）

（耶生）▲各自雨期の衞生を重ずべき折柄陰に冷し氷を飲料に販賣して居る氷店がある充分なる取締を望む（同上）▲本町六丁目郵便所の事務を取扱ふ當生どもは不親切である何うか本局の說諭あらんことを希望する（池珍）▲生意氣小僧能く聞け貴樣が申さず共其位の事は承知して居る一日でも牛乳を取れば受函ヶ牛乳店から備付けて與るや否自分で受函を作り居るもの有るや深く考へず他人の事に出過ぎたる言を吐くものにあらず貴樣は藤富國太郎氏方の小僧なるや姓名を申せ（牛乳呑生）▲大層たれ腹立ちれ氣に障つたら平に御用捨下さい私の申した意味は自衞上其の方が云ふたのですから惡しからず（小僧）▲阿房君の料理屋待遇狀況報告に對して小僧君の判決振つて居るね敢て小僧君に問ふ僕は京城の料理屋で例令ば客の膳の魚が甲には大一尾乙には小二尾或は胴中かと思へば隣の膳には首と謂ふ具合で一座の膳に揃つた材料を使ふのを餘り見ぬ內地なら下等の仕出屋でも斯んな事はせぬね殊に僕は淸華亭で水物に西瓜を、開進亭では薩摩芋の煮附けを頂戴した事が在るドーダ小僧君コンナのも君の口吻にて謂へば親類交際とか家庭的とか謂つて感謝するかね其クセれ勘定はれ安くないよ（芋堀）▲當地では總て秤量で商ひますのですから、れ疑ひとありますれば秤をれ持ち下すつてれ試しを願ひます、古語に曰く名は實の賓なり夫れから開進亭のはれ珍らしいものをと考へた末の事古語に曰く凝つては思案に能はず勘定の高いの甘美味いものは高價いが普通なれば宅のも美味いものでムるぞ其證據には夫れ勘定は此の通り古語に曰く屁を放つて尻つぼめ（小僧）▲淸華亭の西瓜は何うだ（臣）▲河童の子とでも思つたんだらう（小僧）▲第一分隊には敏腕の聞へありし中上特務は病氣の爲め內地へ歸還する相だ惜しいことだが併し藤村特務が居るから隊を安んずるに足るよ〱（の字）▲分隊長交送後ブツ〱云ふものが多くなつた（ヘッコ）▲青木室主人の短氣なのは有名にかツイ先日の事或る客が此の葡萄酒は純良だらうなアと訊いたのが癪に支へた先生れ疑はしければ他でれ求めを願ひます本店では醸造元直輸入で疑はれる如なものは賣りませんと言つた客が歸つた跡で青木氏頭を搔いて「失禮したなア」と後悔してた、ナト愼めよ（貝）